スポーツ

SKATE　スケート部（アイスホッケー）

4/12-18　デンマーク・ヘアニング
2010 IIHF世界U18選手権（ディビジョンⅠグループA）
▶ 3位　U18日本代表：FW 古橋尚哉（商1）

4/19-25　オランダ・ティルブルグ
2010 IIHF世界選手権（ディビジョンⅠグループA）
▶ 3位　日本代表　：　FW 重野駿佑（商3）

5/12-14　韓国・ソウル
2010 IIHFユニバーシティー・チャレンジカップ・オブ・アジア
▶ 優勝　日本学生代表
GK 佐々木亮（法3）　DF 鈴木博敦（総2）
FW 穂積潤光（経2）　FW 水内直人（法3）
FW 重野駿佑（商3）

9/8-12　北海道・苫小牧王子製紙スケートセンターほか
第11回大学アイスホッケー交流戦 苫小牧大会
ファーストステージ
▶ 優勝　中央大学
→決勝では東洋大学を3-2で破り、初優勝

中大のポイントゲッター、FWの阿部慎也選手（商4）
写真提供：中大スポーツ新聞部

RUGBY　ラグビー部

8/22-28　タイ・バンコク
アジアラグビージュニアチャンピオンシップ
（IRBジュニアワールドラグビートロフィーアジア予選）
▶ 優勝　U20日本代表
出場：BK 羽野一志（法1）
→羽野選手は全試合にフルタイム出場、大会通算6トライを挙げて優勝に貢献し、今回の遠征におけるU20日本代表内のMVPにも選出

ラグビー部、3年ぶりに全国大学選手権に出場へ◀

11月14日に行われた関東大学リーグ戦1部の日大戦において、12-7で中大が勝利、最終戦を待たずに3年ぶりの全国大会出場を決めました。初戦は12月19日に行われる予定です。

BKの羽野一志選手（法1）
写真提供：竹野真弘氏

BICYCLE COMPETITION　自転車競技部

4/1-6　タイ・ウボンラチャタニ
ツアー・オブ・タイランド2010
▶ 個人総合69位　笠原恭輔（商1）

4/4　埼玉・西武園競輪場
全日本学生トラックレースシリーズ第1戦
▶ 男子200mフライング・タイムトライアル／優勝
野口大誠（経3）
▶ 男子4kmインディヴィデュアル・パシュート／優勝
石田正樹（法4）
▶ 男子1kmタイムトライアル／優勝　巴　直也（商4）
▶ 男子4kmチームパシュート／優勝　中央大学
巴　直也（商4）　石田正樹（法4）
野村厚貴（法1）　野口裕生（法1）
▶ 男子チームスプリント／優勝　中央大学
勝谷勝治（理2）　有川光吏（経2）　野村厚貴（法1）

4/17,18　長野・飯山市県道飯山新井線ほか
全日本学生ロードレースカップシリーズ第1戦
菜の花飯山ラウンド（ヒルクライム＋クリテリウム）
▶ 優勝（第2日クリテリウム【クラス1+2】）　笠原恭輔（商1）

5/16-23　大阪・奈良・岐阜・長野・静岡・東京各ステージ
14th TOUR OF JAPAN
▶ 団体総合／14位　大学選抜ジャパン
出場：堀内俊介（法3）　飯野智行（文3）
→堀内選手は個人総合67位

5/29,30　岐阜・岐阜競輪場
第79回全日本アマチュア自転車競技選手権大会
トラック・レース
▶ 男子ケイリン／優勝　野口大誠（経3）

5月と8月の2大会で優勝した野口大誠選手（経3）
写真提供：中大スポーツ新聞部

7/3,4　長野・松本市かりがね自転車競技場
第51回全日本学生選手権自転車競技大会
▶ 男子タンデムスプリント／優勝
石田正樹（法4）　巴　直也（商4）
→昨年につづいて2連覇

8/26-29　青森・八戸自転車競技場／階上町特設ロードコース
第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）
▶ 男子ケイリン／優勝　野口大誠（経3）

TRACK AND FIELD 女子陸上競技部

4/25　兵庫・ユニバー記念競技場
第58回兵庫リレーカーニバル（日本グランプリシリーズ第1戦）
▶ 女子1500m／優勝　野村友香里（文4）

4/29　広島・広島ビッグアーチ
第44回織田幹雄記念国際陸上競技大会
▶ 女子800m／2位　野村友香里（文4）

5/3　静岡・エコパスタジアム
第26回静岡国際陸上競技大会
▶ 女子400mハードル／4位　田子　雅（法4）
▶ 女子400mハードル／5位　米田知美（文2）
▶ 女子400m／6位　清水佳奈（文3）

5/8　大阪・長居陸上競技場
ヤマザキ国際グランプリ陸上大阪大会2010
▶ 女子400mハードル／3位　田子　雅（法4）

6/18-20　神奈川・平塚市総合公園平塚競技場
2010日本学生陸上競技個人選手権大会
▶ 女子1500m／優勝　野村友香里（文4）
→記録4分23秒52は大会新記録
▶ 女子400mハードル／優勝　田子　雅（法4）

9/10-12　東京・国立競技場
第79回日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ）
▶ 女子400mハードル／優勝　田子　雅（法4）
→インカレ2連覇
▶ 七種競技／優勝　山田めぐみ（文4）
▶ 女子4×400mリレー／優勝　中央大学
第1走者 利根川由佳（商4）　第2走者 矢野美幸（文3）
第3走者 清水佳奈（文3）　第4走者 田子　雅（法4）
→この種目では13年ぶりの優勝

女子陸上競技部の田子選手、アジア競技大会に出場

11月に中国・広州で開催された第16回アジア競技大会で、女子陸上競技部の田子 雅選手（法4）が400mハードルに出場、決勝に進出し、7位入賞となりました。

SOCCER サッカー部

5/18-27　フランス・トゥーロンほか
第38回トゥーロン国際大会
▶ 予選リーグ敗退　U21日本代表
出場：FW 林　容平（文3）

Jリーグや年齢別日本代表として活躍 —サッカー部

U-21日本代表 林 容平選手（文3）のほか、10月には六平光成選手（経2）がU-19日本代表キャプテンとして国際大会に出場、また、永木亮太選手（経4）が湘南ベルマーレの選手としてJリーグの試合に出場しています。

TRACK AND FIELD 陸上競技部

4/11　カナダ・キングストン
第17回世界大学クロスカントリー選手権大会
▶ 個人男子10km／12位　大石港与（法4）
→団体の部では日本が優勝

4/29　広島・広島ビッグアーチ
第44回織田幹雄記念国際陸上競技大会
▶ 男子100m／5位　川面聡大（法3）

5/3　静岡・エコパスタジアム
第26回静岡国際陸上競技大会
▶ 招待男子200m／6位　川面聡大（法3）

飯塚選手、今季男子200m世界ジュニア1位

5月3日の静岡国際陸上・招待男子200m予選で飯塚翔太選手（法1）が記録した20秒58は、2010シーズン男子200m世界ジュニア1位の記録でした（8月26日現在、IAAF国際陸上競技連盟Webサイトより）。飯塚選手と陸上競技部に大きなご声援を！

写真は関東インカレの4×100mリレー時
写真提供：中大スポーツ新聞部

5/8　大阪・長居陸上競技場
ヤマザキ国際グランプリ陸上大阪大会2010
▶ 男子200m／8位　川面聡大（法3）

6/18-20　神奈川・平塚市総合公園平塚競技場
2010日本学生陸上競技個人選手権大会
▶ 男子200m／優勝　飯塚翔太（法1）
→記録20秒95は大会新記録

7/19-25　カナダ・モンクトン
第13回世界ジュニア陸上競技選手権大会
▶ 男子100m／準決勝進出　女部田 亮（法1）
▶ 男子200m／準決勝進出　木村　淳（法1）
▶ 男子200m／優勝（金メダル・20秒67）飯塚翔太（法1）
→同大会男子種目での金メダル獲得は、日本陸上競技史上初の快挙
▶ 男子4×100mリレー／4位　日　本
第2走者 女部田 亮（法1）　第3走者 木村　淳（法1）
第4走者 飯塚 翔太（法1）
▶ 男子4×400mリレー／5位　日　本
第2走者 木村　淳（法1）
→本学陸上競技部の小粟忠監督も日本代表コーチとして同行

9/10-12　東京・国立競技場
第79回日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ）
▶ 男子4×400mリレー／優勝
第1走者 鬼塚祐志（法2）　第2走者 木村　淳（法1）
第3走者 近藤敦嗣（法4）　第4走者 山下貴大（経4）
→マイルリレーは23年ぶりの優勝

RIFLE SHOOTING 射撃部

6/26-7/4　セルビア・ベオグラード
ISSFワールドカップ　ベオグラード大会
▶ 10mエア・ライフル女子40発競技／391点
▶ 50mライフル女子三姿勢60発競技／565点
清水綾乃（商2）
→現役学生ながらナショナルチームのメンバーに選ばれての出場

7/3,4　大阪・能勢町国体記念スポーツセンター
第6回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会
▶ 男子総合団体／優勝　中央大学
→女子は第3位
▶ 50mライフル男子三姿勢120発競技団体／優勝
中央大学

7/29-8/11　ドイツ・ミュンヘン
第50回ISSF世界選手権
▶ ジュニア10mエア・ライフル女子40発競技／22位
▶ ジュニア50mライフル女子三姿勢60発競技／58位
清水綾乃（商2）

SAILING ヨット部

8/28-9/2　カナダ・バッファロー
スナイプ西半球・東洋選手権大会
▶ 26位　望月　航（法4）　杉浦慎太郎（法2）

SWIMMING 水泳部

9/3-5　東京・東京辰巳国際水泳場
第86回日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）
▶ 200mバタフライ／優勝　野沢拓矢（経3）
▶ 男子400mリレー／優勝　中央大学
第1泳者 塩浦慎理（法1）　第2泳者 水野雄介（法3）
第3泳者 前田康輔（総4）　第4泳者 宮本淳平（法1）

VOLLEY BALL バレーボール部

6/18-20　福岡・福岡市民体育館
第22回アジア太平洋カップ福岡国際男子バレーボール大会
▶ 優勝　日本代表
出場：千々木駿介（法3）
→千々木選手はウイングスパイカーとして日本代表に登録

中大スポーツの振興に向けて

射撃場、ボート部戸田艇庫が完成、ヨット部葉山寮が着工

125周年記念事業の一環としてスポーツ施設の充実が進められていますが、この夏、戸田艇庫と射撃場が相次いで竣工を迎えました。また、12月にはヨット部葉山寮が着工、2011年3月に竣工を迎える予定で建設が進んでいます。

戸田艇庫は9月に完成し、竣工式が執り行われました。新艇庫は60艇を収容でき、男女別の休憩室・シャワー室も備えています。戸田漕艇場周辺には互いに競い合う大学の艇庫が建ち並んでいますが、その中でも最大級の艇庫となりました。

戸田では大学学生の他、杉並高校の生徒も練習を行っており、高大連携の効果にも期待が寄せられています。

一方、多摩キャンパス陸上競技場の一角に新築されたのがスモールボア射撃場です。ライフル射撃のうち、口径5.6mmの実弾を使用するのがスモールボア・ライフルで、標的が50m先にある競技です。しかし、50m規格の射撃場を持つ大学はきわめて珍しく、本学でもこれまでは外部の練習場を借りて練習を行っていました。

外観は窓もなく細長い箱のようですが、その中に詰められた設備は最新鋭のものです。この射撃場は日本ライフル協会公認規格に則って建設されており、電子標的も採用されました。4人が同時に練習でき、伏射・立射・膝射のいずれの姿勢での練習にも対応しています。

"パーン"と乾いた響きとともに放たれる実弾も、オールによって弾き出されるように進むボートも、学生達の真剣な眼差しや集中力とともに一直線に突き進む中大スポーツの心の響きそのものであり、竣工式では理事長やボート部・射撃部関係者をはじめ一同が「中大人の心を熱くする大学スポーツの振興」に向けて心を一つにいたしました。

写真右上：ボート部戸田艇庫　写真下段：射撃場外観と内部

KEMPO 拳法部

4/24　フランス・サント＝マルグリット
フランス国際大会
▶ 団体戦／優勝　日本代表 出場：浜田翔平（法3）
▶ 男子個人戦80キロ以下／3位　浜田翔平（法3）

左は国際大会個人戦で3位などの活躍を見せる浜田選手（法3）
写真提供：中大スポーツ新聞部

WEIGHT LIFTING 重量挙部

4/25　埼玉・さいたま市総合記念体育館
第7回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会
▶ 69キロ級／優勝　三田村和真（法4）

5/14-16　大阪・はびきのコロセアム
第56回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
▶ 56キロ級／優勝　大澤秀平（法1）
▶ ＋105キロ級／優勝　高倉雄大（法3）

6/14-20　ブルガリア・ソフィア
第36回ジュニア世界選手権大会
▶ ＋105キロ級／14位　高倉雄大（法3）
→団体では日本チームの8位に貢献

SKI スキー部

7/2　東京・都立大泉中央公園陸上競技場
第53回全日本学生スキー連盟夏季競技会
▶ 男子400m×4リレー／優勝　中央大学Aチーム
→昨年につづいて2連覇

baseball 硬式野球部

7/26　東京・東京ドーム
世界大学野球選手権 日本代表壮行試合
大学日本代表 対 NPBフレッシュ選抜
▶ 出場：投手 澤村拓一（商4）　内野手 井上晴哉（商3）
→大学日本代表は0-4で敗戦。
澤村選手は登板なし、井上選手は2打数1安打

7/30-8/7　東京・神宮球場ほか
第5回世界大学野球選手権大会
▶ 3位（銅メダル）　大学日本代表
出場：内野手 井上晴哉（商3）
→3試合に出場し、3打数1安打
（澤村選手は怪我のため7/27付で登録抹消）

FENCING フェンシング部

4/2-10　アゼルバイジャン・バクー
2010年世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会
▶ ジュニア男子エペ／77位　伊藤　心（法3）

10月の全日本学生個人・男子サーブルで優勝した宮山選手（文4）
写真提供：中大スポーツ新聞部

ソフトテニス部から2年連続で日本代表チームに選出

ソフトテニス部の石川裕基選手（法4）が、昨年に引き続き平成22年ナショナルチーム選手に、また全日本U-20チーム選手として庄司智哉選手（文1）、道下直人選手（商1）が選ばれました。

硬式野球部 澤村拓一投手（商4）
読売巨人軍に入団へ

10月28日に行われたプロ野球ドラフト会議において、本学硬式野球部の澤村拓一投手（商4）が読売ジャイアンツから1位指名を受け、入団が決まりました。

澤村投手は今年5月、東都大学春季リーグにおいて、神宮球場における学生最速となる157kmを記録、去就が注目されていました。

硬式野球部の先輩にあたる読売巨人軍阿部慎之助選手との「中大バッテリー」実現など、中大出身アスリートの今後の活躍に期待がかかります。

澤村投手と硬式野球部に、引き続きのご声援を！

関東インカレ　男子4×100mリレー
日本学生新記録を樹立し優勝

5月に行われた第89回関東学生陸上競技対校選手権大会男子4×100mリレーで、中央大学が38秒54の日本学生新記録を樹立して優勝しました。

この38秒54という記録は、日本代表などを除き、単独チームとしては日本最高記録となるもので、2008年の北京オリンピック、昨年のベルリン世界陸上選手権に当てはめると、それぞれ5位、6位に相当する記録で、2010シーズンの国際陸連・世界ランキング(11月11日現在)では、16位となる好記録です。

日本インカレ史上初　4×400mリレー
男女ともに中央大学が優勝

9月開催の日本インカレ(29ページ記載)4×400mリレーで、男子は23年ぶり、女子は13年ぶりに本学が優勝しました。この種目で男女同一大学が優勝するのは大会史上初の快挙となりました。

『Hakumonちゅうおう―2010年 125周年記念号』
オンライン版で詳細記事をご覧いただけます。
URL…… www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/hakumon

右上…男子4×100mリレーメンバー(写真提供:陸上競技部)
右下…Cマークを作る男子4×400mリレーメンバー(写真提供:中大スポーツ新聞部)
左下…女子4×400mリレー最終走者の田子雅選手(法4)(写真提供:中大スポーツ新聞部)

短距離リレー種目で男女ともに大きな活躍

ガンバレ中央大学！ ―― 赤い襷とバトンで力走をつなぐ陸上競技部

駅伝シーズン到来！

■ 駅伝シーズン開幕

大学三大駅伝の最初のレース、第22回出雲全日本大学選抜駅伝競争が、10月に島根県・出雲大社をスタートとして行われ、本学は総合第7位となりました。続いて11月には、愛知県の熱田神宮を出発し、伊勢神宮までの106.8kmをつなぐ、第42回全日本大学駅伝対校選手権大会が開催され、総合第8位となりました。

次はいよいよ年明けの箱根駅伝。1年生の好走や穴のない総合力など、2つのレースから得たさまざまな収穫を糧として、今年の4位からさらなる飛躍をめざし、日々練習に励む中央大学駅伝チームに皆さまの大きなご声援を！

■ 母校・中大の優勝を信じて
――昭和33年卒　丹羽野一徳さん

平成元年から始まった出雲全日本大学選抜駅伝競走。以来22年間、出雲の地

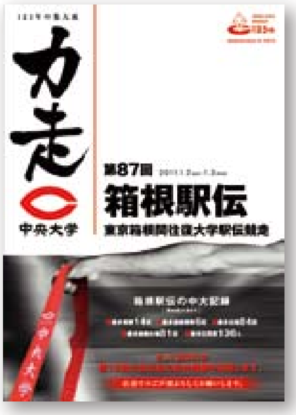
で母校中大の学帽をかぶり、紋付き袴姿で応援団長を務める方がいます。

昭和33年経済学部卒、丹羽野一徳さん(75)。母校への恩返しの気持ちも込め、若き後輩達へ精一杯の声援を送る姿は、出雲駅伝の名物として広く知られるようになりました。

中大の伝統である家族的情味はいまも脈々と受け継がれ、声援とともに赤い襷の力へとつながっていく――丹羽野さんが出雲から送りつづける伝統の力です。

■ ガンバレ中大！箱根駅伝応援ツール

中央大学では、陸上競技部駅伝チームの選手プロフィールや、箱根駅伝の見どころを紹介した「駅伝応援パンフレット」を作成し、駅伝応援サイトに掲載しています。印刷のうえ箱根駅伝の応援にご活用ください。また、駅伝応援サイトでは、箱根駅伝に向けた応援メッセージも募集しています。このほかにもさまざまなコンテンツを予定していますので、どうぞご注目ください。



中央大学駅伝応援サイト：www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/ekiden